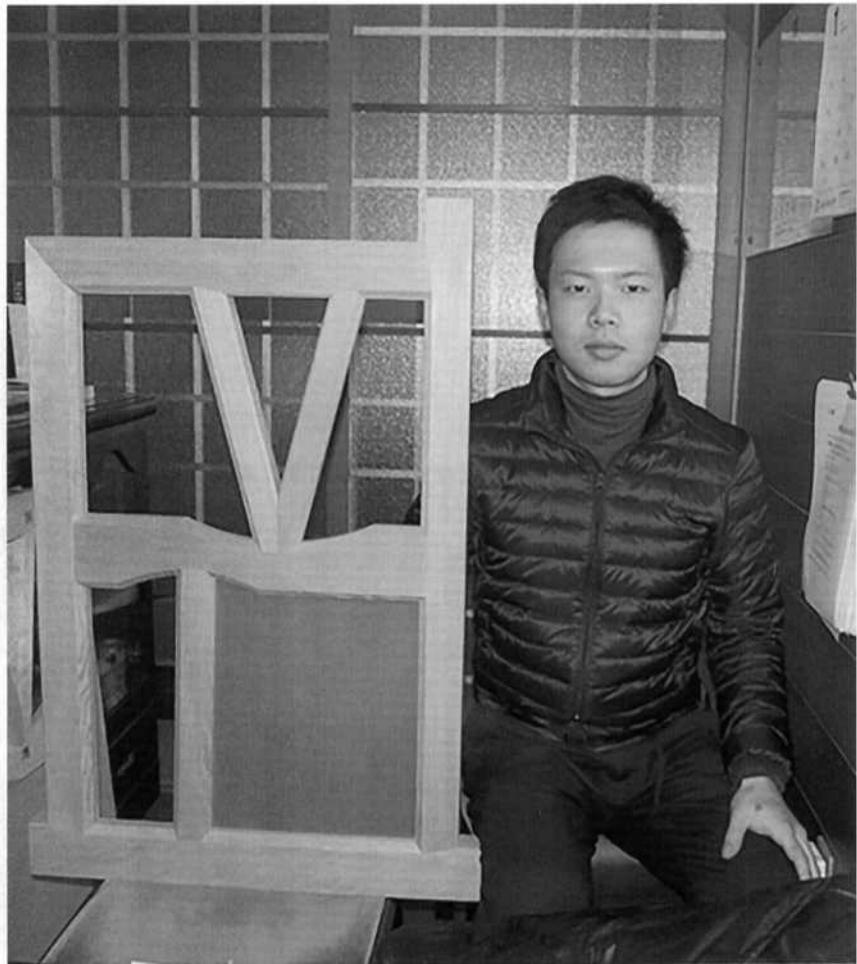


第53回技能五輪全国大会 建具職種金賞・安達将伍さん

建具の基本は鉋仕上げにあり



技能五輪で完成させた課題を持つ安達さん

第53回技能五輪全国大会の建具職種の競技において、最高位の金賞（厚生労働大臣賞）を獲得した安達将伍さんは茨城県小美玉市の安達建具店に勤務している。技能五輪への出場を決めてから、安達さんは技能面のみならず、肉体面や精神面の強化も行ってきた。

「以前はずいぶん太っていました、

前の体型では仕事中にも動きづらく、このままではいけないという危機感がありました。技能五輪に出るに当たって、まず体力を付けようと思つて運動や食事管理も取り入れて、不摂生な生活を改めることから始めました。技能五輪を契機として、今後の仕事のためにも必要だと思い、決心した次第です」

偏食だった食生活を改め、タンパク質や野菜の摂取を増やして間食を減らし、仕事が終わつた後には近隣をランニングして体を鍛えた。こうした生活改善を1年間継続した結果、贅肉が落ちていき、安達さんも「身が軽くなつた」と、変化を感じるようになつた。技能五輪は観戦する人も大勢であり、以前は人目に触れることも苦手であつたが、引き締まつた体にすることで「見られても平気」という精神的な余裕も生まれるようになった。

安達さんは東京建具高等職業訓練校の第55期生として、2年間東京で建具の学問と技術の基礎を学んだ。同期には2年前の技能五輪で金賞を受賞した征矢友彦さん（株山二建具）がいる。今回、安達さんが出場を決めた背景には、征矢さんの存在も大きかった。

「在学中から征矢さんは仕事を考え方もしつかりした人であり、同期の中でも目標にしていた人でした。まずは技能五輪で良い成績を残すことが自分の中での目標でしたので、今回、自分が金賞を取れてほっとしています」

今回の建具競技の課題は例年に比